

## 高橋弘氏採集北滿洲興安北省産蟻類

安 松 京 三

Ants collected by Mr. H. TAKAHASHI in Hingan (Hsingan)  
North Province, North Manchuria (Hymenoptera,  
Formicidae)

Keizô YASUMATSU

(昭和 16 年 2 月 11 日受理)

北海道帝國大學農學部昆蟲學教室の高橋弘氏は 1940 年の夏、人體害蟲調査の爲滿洲北部へ採集旅行をされたが、その折に採集された若干の蟻類の研究を私に委ねられた。以下に記する蟻はすべて興安北省の産で、同地方蟻相の研究上貴重な資料を提供するものと信じる。

先づ上記材料研究の機会を與へられ且標本の大部分の御寄贈を忝うした高橋弘學士に謝意を表し、平常絶えざる御鞭撻を賜はる江崎悌三教授にも御禮を申上る。

1. *Formica (Formica) rufa pratensis* RETZIUS, 1783

多数の職蟻, 15, viii. 1940, Aershshan (阿爾山)

従來歐洲の北部及び中部、シベリア、コーカサス、ウツスリー地方、樺太及びカムチャツカより知られて居たもので、滿洲からはこれが最初の記録かと思ふ。故寺西暢氏は 1932 年に樺太産蟻類目録を發表された中に本亞種名を掲げられ、命名者を DEGEER とされたがこれは誤りであらう。且又分布にウツスリー及びカムチャツカを落されたのは KARAWAJEW 氏の 1929 年の論文を見られなかつた爲であらう。

2. *Formica (Formica) uralensis* RUZSKY, 1895

多数の職蟻・幼蟲・蛹, 3-4. viii. 1940, Hailar (海拉爾)

本種は従來東プロシヤ、コラ半島、モスコウ附近、ウラル地方、南シベリア、北シベリア (Turuchansk) アルタイ地方、トランスバイカル地方、アム

[臺灣博物學會々報 第三十一卷 第二百一十一號 昭和十六年四月]

ール及びウツスリー地方の  
の蒙古及び滿洲よりの發  
拉爾に於て滿洲よりの最

3. *Formica (Serviformica)*

5 頭の職蟻, 15. v.

本種は従來歐洲の南部  
れは本種でないとも云ふ  
EIDMANN 氏の記録があ  
よい様である。

4. *Formica (Serviformica)*

7 頭の職蟻, 1 頭

本種の分布に就いての  
ある。然し蒙古及びカム  
里、ハルビン、チャムス  
氏も滿洲で本種の採集を

5. *Formica (Coptoformica)*

多数の職蟻, 15. v.

高橋氏が採集された職  
の特徴の中、雌の頭蓋  
は大部分を満足するに足  
思ふ。WHEELER 教授が  
されたものである。

6. *Myrmica ruginodis*

多数の雄・雌羽蟻

蟻, 6. viii. 1940,

本亞種はウツスリー地  
1931, 1932) から知られ  
職蟻が缺けて居るが、種  
おく。さて 1929 年及

## 北省産蟻類

Hingan (Hsingan)  
(Hymenoptera,

1940年の夏、人體害蟲調  
査された若干の蟻類の研  
究は北省の産で、同地方蟻相  
の御寄贈を忝うした高  
橋氏より江崎梯三教授にも御禮

, 1783

阿爾山)

ウス、ウツスリー地方、樺太  
からはこれが最初の記録か  
らを發表された中に本亞種名  
は誤りであらう。且又分布  
は KARAWAJEW 氏の 1929 年

Hailar (海拉爾)

近、ウラル地方、南シベリ  
ヤンスバイカル地方、アム

[1940年四月]

ール及びウツスリー地方から知られて居た。1931年 KARAWAJEW 氏は本種  
の蒙古及び滿洲よりの發見の可能性を述べたが、その推察が適中して今回海  
拉爾に於て滿洲よりの最初の發見となつたわけである。

3. *Formica (Serviformica) gagates* LATREILLE, 1798

5頭の職蟻, 15. viii. 1940, Aershshan (阿爾山)

本種は從來歐洲の南部、小亞細亞、コーカサス、蒙古、シベリア一部(こ  
れは本種でないとも云ふ)、滿洲等より知られて居た。滿洲よりは 1929 年の  
EIDMANN 氏の記録がある。高橋氏の採集されたものは先づ本種と見做して  
よい様である。

4. *Formica (Serviformica) picea* NYLANDER, 1846

7頭の職蟻, 1頭の雄羽蟻, 3-4. viii. 1940, Hailar (海拉爾)

本種の分布に就いての從來の智識は 1932 年の寺西氏の論文中に詳記して  
ある。然し蒙古及びカムチャツカよりの記録が洩れて居る。滿洲からは滿洲  
里、ハルビン、チャムス、承德等が産地として知られて居る。又 EIDMANN  
氏も滿洲で本種の採集をした。

5. *Formica (Coptoformica) exsecta manchu* WHEELER, 1929

多数の職蟻, 15. viii. 1940, Aershshan (阿爾山)

高橋氏が採集された職蟻は故 WHEELER 教授が本亞種に就いて示した多数  
の特徴の中、唯その頭部の幅の後方への狭小度に於て少しく不一致を見る外  
は大部分を満足するに足るものである故、先づ本亞種に同定してよいもの  
と思ふ。WHEELER 教授が記載に使つた標本は滿洲の“Boketu”に於て採集  
されたものである。

6. *Myrmica ruginodis orientalis* KARAWAJEW, 1926多数の雄・雌羽蟻, 15. viii. 1940, Aershshan (阿爾山); 多数の雄羽  
蟻, 6. viii. 1940, Nailemuto (奈勒穆圖)

本亞種はウツスリー地方 (KARAWAJEW) 及び樺太・南千嶋色丹嶋 (寺西:  
1931, 1932) から知られて居た。高橋氏採集の材料は残念にも全部羽蟻で、  
職蟻が缺けて居るが、私は今のところ北滿産のこの材料を本亞種に同定して  
おく。さて 1929 年及び 1932 年の論文に於て寺西氏は KARAWAJEW 氏

(1913) の論文を引用し *Myrmica ruginodis* NYLANDER が朝鮮、ウツスリー及び樺太に居る事を紹介され、氏御自身樺太軍川産の標本を所有の旨記されたが、KARAWAJEW 氏が 1913 年 (1920 年に非ず) に *Myrmica rufa ruginodis* NYLANDER として上記地方から記録したものは即ち *Myrmica ruginodis orientalis* である事を既に 1929 年の論文に発表して居る故、寺西氏が *Myrmica ruginodis* NYLANDER として樺太から報告したのも或は本亜種であるかも知れない。

#### 7. *Leptothorax (Leptothorax) nassonovi firsovi*

KUZNETOV-UGAMSKIJ, 1928?

多数の雄・雌羽蟻, 6. viii. 1940, Nailemuto (奈勒穆圖)

本亜種はウツスリー地方から知られて居たものである。高橋氏の採集品には職蟻が缺けて居るので残念乍ら種名を決定出来ないが、研究の結果によれば先づ本亜種か或はこれに近似のものと思はれる。

尙奈勒穆圖は海拉爾の北方 200 軒にあるカザクの部落で、阿爾山はノモンハンの近くである。調査標本の大部分は九州帝國大學農學部昆蟲學教室に保存して居る。

最後に高橋氏の御許しを得て同氏が親しく上記の蟻に就いて観察された事項を、同氏よりの御手紙中から次に摘記する。

「奈勒穆圖竝に阿爾山に於ては羽蟻の群の爲採集網も採集箱も一時に投げ捨て逃げ出した事も御座います。群は大抵丘の頂上附近に居りまして、たまたま同所附近で採集でも始める時は、最初一種の臭氣が感ぜられ、後には眞黒になつて襲來し、顔・頭・手足とそこら中喰ひつかれます。又多く衣類の間にもぐり込まして脊中から臍の近くまで喰ひつかれました。逃げ出せば 20-30 間近くも追ひかける様子ですが、風向の加減で 1 頭も見なくなる時もあります」

以上の観察から以つて當時の羽蟻の群飛の壯觀さを察する事が出来る。

#### 参 考 文 獻

1. BALTZ, V. 1916. Quelques observations sur les fourmis de la Province d'Amour. Rev. russ. d'Entom., 15, 1915, p. 302-319.
2. EIDMANN, H. 1929. Entomologische Ergebnisse einer Reise nach Ostasien. Verh. zool.-bot. Ges. Wien, 79, p. 308-335.

3. FOREL, A. 1903. Impériale des Sci. St.-Petersb.
4. FOREL, A. 1908. China und Tibet.
5. KARAWAJEW, W. I. Rev. russ. d'Entom.
6. KARAWAJEW, W. 94, p. 104-117.
7. KUZNETZOV-UGAMSKIJ, 1928. Zool. Anz., 83, p. 104-117.
8. RUZSKY, M. 1896. des Uralgebirge.
9. STITZ, H. 1930. Pamir-Expedition. Mus. Berlin, 16.
10. STITZ, H. 1935. den nordwestlichen. Arkiv för Zoologi.
11. 寺西暢, 1929. 日本.
12. TERANISHI, C. 1919. of Shikotan in the.
13. 寺西暢, 1932. 樺太.
14. 寺西暢, 1936. 熱帯部, 第 1 區, 第 1 種.
15. WHEELER, W. M. (Linné) Mayr.
16. WHEELER, W. M. Mus. Nov., no. 1.
17. 安松京三, 1940. 滿洲.

ANDER が朝鮮、ウツスリ  
産の標本を所有の旨記さ  
ず)に *Myrmica rufa*  
たものは即ち *Myrmica*  
文に發表して居る故、寺  
から報告したのも或は

vi  
ETOV-UGAMSKIJ, 1928?

(奈勒穆圖)

ある。高橋氏の採集品に  
いが、研究の結果によれ

部落で、阿爾山はノモン  
學農學部昆蟲學教室に保

蟻に就いて觀察された事

網も採集箱も一時に投げ

附近に居りまして、たま

氣が感ぜられ、後には眞

かれます。又多く衣類の

かれました。逃げ出せば

で1頭も見なくなる時も

を察する事が出来る。

fourmis de la Province

319.

iner Reise nach Ostasien.

3. FOREL, A. 1903. Note sur les fourmis du Musée Zoologique de l'Academie Impériale des Sciences a St.-Petersbourg. Ann. Mus. Zool. l'Acad. Imp. Sci. St.-Petersbourg, 8, p. 1-21.
4. FOREL, A. 1908. Wissenschaftliche Ergebnisse der Expedition Filchner nach China und Tibet 1903-1905, 10, 1. Teil, Formicidae.
5. KARAWAJEW, W. 1913. Ameisen aus dem paläarktischen Faunengebiete. I. Rev. russ. d'Entom., 12, 1912, p. 581-596.
6. KARAWAJEW, W. 1931. Beitrag zur Ameisenfauna Jakutiens. Zool. Anz., 94, p. 104-117.
7. KUZNETZOV-UGAMSKIJ, N. N. 1929. Die Ameisen des Süd-Ussuri-Gebietes. Zool. Anz., 83, p. 16-34.
8. RUZSKY, M. 1896. Verzeichnis der Ameisen des östlichen Russlands und des Uralgebirges. Berliner Entom. Zeitschr., 41, p. 67-74.
9. STITZ, H. 1930. Entomologische Ergebnisse der Deutsch-Russischen Alai-Pamir-Expedition 1928 (1). Hymenoptera III, Formicidae. Mitt. Zool. Mus. Berlin, 16, p. 238-240.
10. STITZ, H. 1935. Schwedisch-chinesische wissenschaftliche Expedition nach den nordwestlichen Provinzen Chinas, 25. Hymenoptera, 3. Formicidae. Arkiv för Zoologi, 27A, no. 11.
11. 寺西暢. 1929. 日本産蟻類の習性と分布 (二)、動物學雜誌, 41, p. 312-332.
12. TERANISHI, C. 1931. Ants collected by Mr. K. KOBAYASHI on the Island of Shikotan in the Southern Kuriles. Trans. Kansai Ent. Soc., 2, p. 28-29.
13. 寺西暢. 1932. 樺太産蟻類目録、關西昆蟲學會々報, 3, p. 49-54.
14. 寺西暢. 1936. 熱河省産昆蟲類、アリ科、第一次滿蒙學術調査研究團報告、第5部、第1區、第11編、第60輯。
15. WHEELER, W. M. 1913. A revision of the ants of the Genus *Formica* (Linné) Mayr. Bull. Mus. Comp. Zool., 53, no. 10.
16. WHEELER, W. M. 1929. Some ants from China and Manchuria. Amer. Mus. Nov., no. 361.
17. 安松京三, 1940. 滿洲國三江省の蟻數種、むし, 13, p. 42